

きそがわ福祉社会だより

地域の中でともに育つ事業所をめざして

2025年5月20日発行 No.132



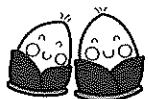
“ホームの休日”…みんなとの楽しいひと時・自分の時間・新しい経験



社会福祉法人きそがわ福祉会

【法人本部】〒493-0006 愛知県一宮市木曽川町内割田一の通り12番地3（定款記載上の主たる事務所の所在地）
電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937

【たけのこ拠点】〒483-8351 愛知県江南市松竹町切野94番地（定款記載上の従たる事務所の所在地）
電話 0587-55-2039 FAX 0587-50-2056



内覧会

(グループホーム定員6名、短期入所定員1名)

3/24(月)、25(火)に開催致しました

江南市の地域生活支援拠点の推進活動を担う
第1歩が始まりました。

事業所は2025年4月1日に開所



2日間で130名を超える方が来所

4月1日の開所日を前にして、3月24日・25日に内覧会を開催致しました。地元の地域住民の方々や今後にグループホームに入居も検討してみたい…と考え中の家族関係者の方々には多数お越しいただくことが出来た貴重な取組となりました。

また、事前に案内もさせていただく中で、江南市議会議長の伊藤吉弘様(地元の宮田地区)、地元の愛知県議会議員の村瀬正臣様、江南市議会議員の尾関昭様(地元の宮田地区)、衆議院議員の福田とおる様の秘書様、江南市ふくし支援課長の稻田剛様、地元の松竹区区長(江南市社会福祉協議会常務理事)の武田篤司様にお越しいただくことが出来ました。誠にありがとうございました。

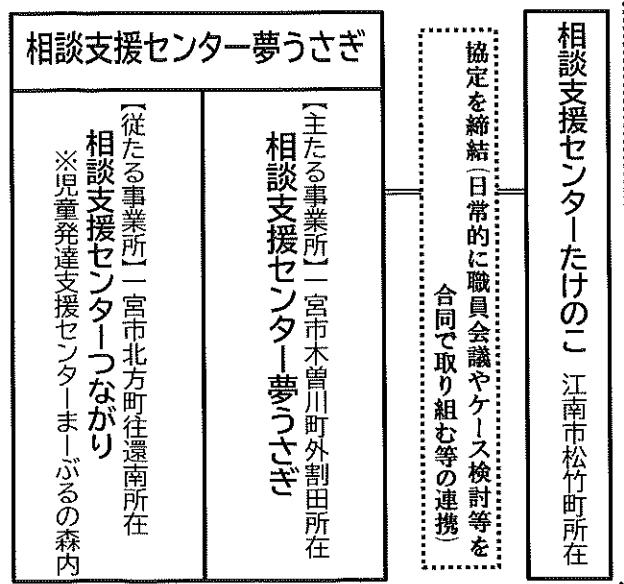
江南市障害者自立支援協議会、きょうされん

愛知支部尾張ブロック関係者の方々も来所

江南市障害者自立支援協議会の相談支援部会には昨年度途中から、当法人の「相談支援センター夢うさぎ」として出席させていただき、暖かく迎えていただきました。そうした関係性を大切にしていく中、江南市社会福祉協議会様を通して案内を配信していただき、多くの相談支援センターや障害福祉サービス事業所のスタッフの方々にもお越しいただくことが出来ました。さらに、日頃からつながりのある、きょうされん愛知支部尾張ブロックの事業所関係者の方々もお越しいただくことが出来ました。

たくさんの方にお越しいただき大変嬉しく思います。同時に開所後の運営を引き締めて進めて行く思いを新たにする取組となりました。誠にありがとうございました。

きそがわ福祉会 相談支援センターの組織図



グループホームたけのこの主な歴史

「たけのこホーム1」2004年4月開設
旧たけのこ福祉会の取組で、江南たけのこ拠点の最初のグループホームとして島宮町に開所現在、すべての利用者の方が女性、6名入居中)
※旧たけのこ福祉会所有地で国・県・江南市補助金+借入金+自己資金で建築

「たけのこホーム2」2017年7月開設
旧たけのこ福祉会の取組で、江南たけのこ拠点の2ヶ所目のグループホームとして松竹町に開所(現在、すべての利用者の方が男性、6名入居中)
※法人自己資金で土地購入、建設費も自己資金
「たけのこホーム3」2025年4月開設
たけのこ福祉会ときそがわ福祉会が合併後、現在のきそがわ福祉会として、たけのこホーム2の隣接地で開所(6名定員のグループホームと1名の短期入所、さらに併設して、「相談支援センターたけのこ」も開設。
※法人所有地(旧たけのこ福祉会取得)で国・県・江南市の補助金+借入金+自己資金で建築

令和7年3月10日 一宮市社会福祉協議会内に

「一宮市成年後見支援センター」が開設

令和7年3月10日に一宮市成年後見支援センターが一宮市社会福祉協議会内に開設されました。

一宮市では長年、成年後見支援、センター開設についての検討がなされてきました。平成24年3月に策定された第3期一宮市障害福祉計画からは計画の重点戦略にも盛り込まれ、地域で生活をする住民の権利擁護を担う機関の公的設置を具体化する動きがありました。

これまで、司法、行政、福祉の民間団体が、後見制度の利用支援をしてきた歴史の上に、公的機関としての一宮市成年後見支援センターが開設されたことは非常に価値のあることだと感じます。また、これまでと同様に、権利を護るということの重要性と、後見人制度を利用する人、関わる人の諸課題をセンターとして継続して地域に啓発し、検討してくださることにも大きな期待が持てます。

一宮市成年後見支援センターとは？

認知症・知的障害・精神障害などの理由により判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域でも安心して暮らせるよう成年後見制度をはじめとする制度に関する相談や調整を支援する機関です。

* * * * *

成年後見制度を詳しく知りたい方や下記のような困りごとがある時に相談できます。

(一宮市成年後見センターパンフレットより抜粋)

- 物忘れがあり、自分でお金や不動産の管理ができない
- 訪問販売や悪徳商法の被害を受けている
- 身寄りがなく将来が不安である
- 自分に何かあった時に障害のある子どもの生活が心配 など

一宮市成年後見支援センター

TEL:0586-85-8828

受付時間：午前9時～午後4時30分
(土日祝日、年末年始除く)

〒491-0858

一宮市栄3丁目1番2号 尾張一宮駅ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)



【総量規制についての国の動き】…もとをたどると「財務省」から…
現在、地方自治体が策定する障害福祉計画等を通じて、サービス提供についての一定の抑制を図る動きが生じており、このことを「総量規制」と言われています。

しかし、これは、国からの発信に基づいており、もとをたどると、厚労省ではなくて、財務省が社会保障費全体の抑制を目指す中で、障害者児福祉分野にもその影響が及んでいるもの、と言われています。

【一宮市では】…数値を根拠で「総量規制」着手(例外的取扱いあり)…
一宮市では、生活介護(2023年度から継続)、就労継続支援B型(2024年度から継続)、児童発達支援(2023年度から継続)、放課後等デイサービス(2024年度から継続)が実施されており、2025年度においても、新規申請・定員増加(多機能型事業所における内訳変更を含む)に係る相談等の受付の停止を継続、となつており、但し、例外的な取扱いとして

- (1)サービスの主たる対象者が強度行動障害のある障害者(児)、医療的ケアを要する障害者(児)もしくは重症心身障害者(児)である場合
 - (2)その他指定することが必要と認められる場合
- は総量規制の対象としないケースがある、と一宮市ホームページに記されています。

…官民共同で取り組まれている…

【一宮市障害者自立支援協議会の諸会議で出されている声として】

- ◆高等部の保護者の方々の中では、卒業後に行先がなくなってしまうかもしれない・・・という不安の声が広がっている。
- ◆進路を支援される学校の先生は、一宮市内の場合、希望される所への紹介が難しい可能性もあり、一宮市以外の地域を探して下さい、と対応せざるを得ない場合がある。
- ◆民間の法人として、切実な願いに応えて新たな事業所づくりを進めていく場合、一宮市の示す「例外的取扱い」を踏まえて、当局との協議も踏まえつつ、相当緻密な準備が必要となり、従来に比べて時間を要する可能性がある。



第20回 たけのこまつり 開催 たけのこ作業所

3月14日第20回たけのこまつりを開催しました。開催にあたり、仲間達やご家族様、関係機関の皆様方のご協力や支えがあって、ここまで來ることができましたことを感謝申しあげます。

今回のたけのこまつりは、たけのこ作業所の仲間やご家族の方、わくばドリーム作業所の皆さんを迎えてお互いに交流を深め、仲間同士が楽しむ事を目的として行いました。わくばチームとたけのこチームに分かれて魚釣りゲームを行い、わくばチームがたくさんの魚を釣り上げて見事優勝しました。

仲間のステージでは、毎日朝の会前に練習した「虹」「アララ」の呪文」の一曲を発表しました。手話で振付したり、ポンポンを振って踊ったりして、皆さんとても輝いていました。

お風は皆さんお待ちかねーの模擬店。CoCo壱番屋さんが来所され、美味しいカレーの提供をして頂きました。パンや手作りお菓子、フランクフルト、ドリンクの販売もあり、皆さん思い思いに購入し、美味しいただきました。



また、手作りの射的や「フルフゲームを親子で行い、楽しい時間を過ごしました。午後からは、人形劇団「紙風船」による演劇を見て感動もしました。最後は恒例のビンゴゲームを行い、何が当たるのかワクワクし、商品をゲットして歓声が上がっていました。

保護者の方々から「楽しかったよ」という声も頂きました。とても有意義な時間過ごせました。

新年度4月が始まり、ホームから少し足を延ばしてみると、桜も綺麗に咲いていて、気持ちの良い季節になつてきました。仲間のみなさんは変わらず元気な日々を過ごされています。(3月にはたけのこ拠点でコロナウィルスの感染が拡がり、一時は仲間も職員もお休みする事態になつてしましました。季節の変わり目に現れた嵐のような出来事でしたが、今では仲間も職員も療養を終えて、無事元気になつて帰つてこられた一安心です。長いお休みでしたが、身体の調子を整えていきながら、ホームでの生活リズムもゆっくりと整えていければと思います。まだまだ朝晩は冷えるので、寒暖差などでも体調を崩さないように、衣類の調整にも気を付けていきます。他にもこの時期に辛いのは花粉症です。仲間も鼻がムズムズする様子で鼻水やくしゃみをされたり、目の痒みなどで辛そうにされている方もみえます。早く花粉の時期が過ぎることを願っています。

新年度を迎えると共に、グループホームたけのこにも新しく職員を迎えることができました。仲間の生活が安定するより、職員体制を整えながら、今後も安心して過ごしていただけるホームを目指して努めてまいります。



春の訪れ グループホームたけのこ



新年度4月が始まり、ホームから少し足を延ばしてみると、桜も綺麗に咲いていて、気持ちの良い季節になつてきました。

仲間のみなさんは変わらず元気な日々を過ごされています。(3月

生活介護



一宮桜祭り&木曽三川公園へ

北方あすなろ作業所

4月4日に生活介護では、一宮桜祭りに行ってきました。屋台もあり、ベビーカステラや、フランクフルト、クレープなど食べたいものをそれぞれ買って、ベンチに座って笑顔で仲間も「おいしい」と言いながら食べられていきました。

また、4月8日には、木曽三川公園にて、チューリップ畑も見に行ってきました。

就労B

お花見へ



4月3日に就労継続B型では、お花見に138タワーに行ってきました！まずは、それぞれがお花見で食べたいものを買うためにスーパーへ。

シュークリームや、三色団子、大福などを選び出発しました！

桜は、とても綺麗で散り始めていた桜の木もありました！

木の下でレジャーシートを引き、各自買った物を食べ飲みしながら、会話で盛り上がったり、景色を堪能したりしました。

生活介護、就労でそれぞれ四季を感じられるとてもいい取り組みになりました！今度は、合同で行きましょうね！



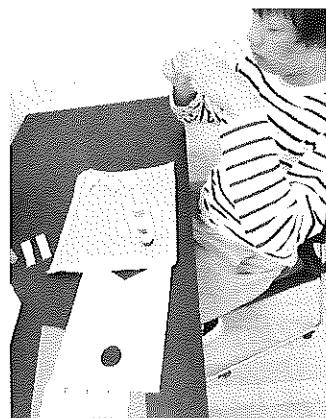
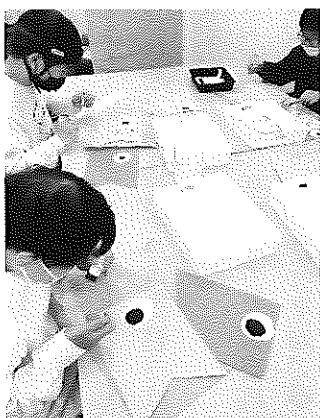
なないろ作業所

新入所

おめでとうございます!!

新年度を迎えて、なないろ作業所に4人の新しい仲間が増えました!!

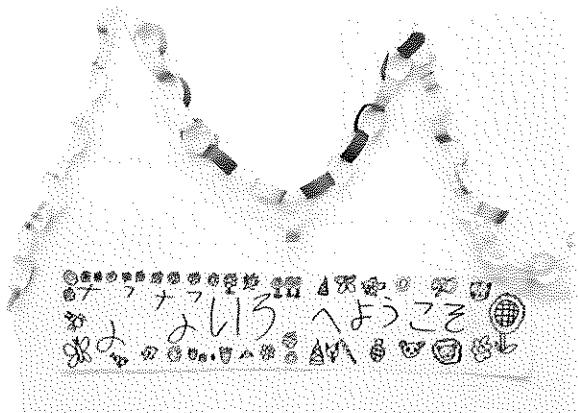
いつもニコニコ笑顔のSさん、電車が大好きなDさん、長身イケメンのKさん、バランスボールがお気に入りのSさんと、みんな元気いっぱいななないろ作業所に通って来ています。毎日、それぞれのグループで作業や課題に取り組んでいます。なないろ作業所で個性を伸ばせるといいな～



みんなで
こいのぼりを
作ったよ～！

また、職員もニューフェースさん達の参加で、支援がパワーアップ！

なないろ作業所らしいカラフルなカラーを創っていければと思います。



～きそがわ作業所～ お花見に行ってきました



お花見日和♪



集合写真を撮りました！

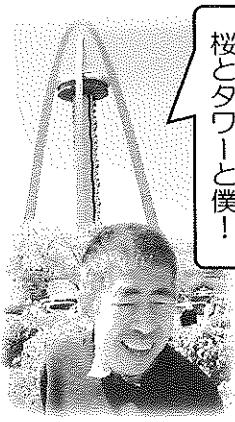
当口は、とてもいい天気に恵まれ、お花見日和な暖かい陽気の中、お花見を楽しみました。

2階も3階もお花見場所に着いて、皆で集合写真を撮りました。

4/4(金)に各フロアでお花見をしました。3階フロアは午前中、2階フロアは午後に一宮総合体育館にて行いました。満開の桜を見ながらリラックスした時間を過ごすことができました♪



歩くことが得意な仲間はタワーの方まで歩いたり、少し歩いて桜を見ながら休憩する仲間など、皆さんそれでお花見を楽しめた様子でした。



また桜とタワーを背景に、リラックスした表情で素敵な写真を撮ることができました。



今年度より、なないろ作業所から異動された、新しい仲間が加わりました。

4月1日はドキドキの初通所で緊張されましたが、午後の取り組みには笑顔で参加され、みんなでスムーザーを作つて楽しました。材料のマンゴーを混ぜる前には、「1個食べてもいい?」と職員に質問するなど、おちゃめな一面も見せていました！

新職員も1名加わり、歓迎会の取り組みでは自己紹介クイズを行い、大盛り上がりでした。フレッシュな新年度のスタートとなりました！

フレッシュな仲間が加わりました！

みんな 大きくなつたね

3月に児童発達支援部門(通称「ばーむ」)で初めての卒園式が行われました。開催するにあたり、職員一同で卒園児たちがまーぶるの森に通い始めた頃からの思い出を写真で振り返っていると、改めて成長してきました様子に涙が溢れました。

当日は卒園児自身が作った記念品メダルの授与と、ご家族の皆様に向けたお祝いのメッセージと共に、表彰状を授与させていただきました。また、最後に卒園児一人ひとりの軌跡をスライドショーにして披露し、親子共々の顔がほころぶ卒園式でした。

▲子どもたちの手形で桜の木を満開に咲かせました！



開所から早5年が経ち、地域の皆様には随分との存在は周知されてきたことを感じています。

しかし、「何あるといふなの?」と尋ねられたこともしばしばあるのが現状ですぐ、改めて児童発達支援センターの役割と各部門を紹介したいと思います。

児童発達支援センター まーぶるの森 ってどんなところ?

児童発達支援事業(発達支援) 通称「ばーむ」「りーふ」
就学前までのお子さんが利用できます。

【ばーむ】では基本的な生活の動作を身につけ、地域の中で自分らしく生きていける礎を育んでいく場所です。
【りーふ】では集団生活で必要とされる「ミコニケーション」の基礎や集団適応能力を育む活動を行っています。

放課後デイサービス(発達支援) 通称「すだち」

小学1年生～18歳までのお子さんが利用できます。
日常生活や学校生活で必要とされるスキルを獲得し、社会性を育んでいく活動を行っています。

療育相談(保護者支援・地域支援)

保護者様の不安や悩み、お子さん自身が抱える不安な

気持ちなど整理し、一緒に解決策を見出していくます。
また、一宮市障害者自立支援協議会に参加するなどして、一宮市に生まれた誰もが住みやすい街になることを目指した活動も、行っています。

保育所等訪問支援(地域支援)

所属している場所での集団適応力を育む」と目的に保育所や学校に訪問員が向い、効果的な関わり方や環境調整を先生たちと一緒に考えてきます。また、その内容を家庭とも共有していくことで、保護者様の子育て不安の軽減に繋げていきます。



※担当地域
今伊勢、奥、
北方、葉栗、
木曽川中学校区

玉の井ホーム誕生日会inバイキング まんぶくになるまで楽しみました!!



4月に誕生日を迎える玉の井第二ホームの仲間と誕生日会を開催しました。

仲間のみんなにはサプライズで当口まで秘密にしていましたので、最初は何のこっちゃといった様子でしたが、焼き肉バイキングに行くことがわかるとノリノリで何を食べるか職員に雑誌の写真を見せながら伝えていました。



早く焼けないかな
全員おなかペコペコで向かった
バイキングでは肉や寿司、パスタなど色々なオードブルをみんなで満腹になるまで堪能し楽しむことができました。

今回の誕生日会では二人の方が、誕生日を迎えるみんなで誕生日をお祝いし楽しむことができました。また職員からの誕生日プレゼントも気に入つてもらえたようだ、いい笑顔が見られました。

北方ホーム・ぬくもりホーム 初めての”プロハンドボール公式戦観戦へ!!”

豊田合成様からプロハンドボールの公式戦観戦の招待をいただき、ホームの希望者で2月の休日に観戦しました。

職員も仲間の皆さんもハンドボールの試合を見たこともなく、ルールもしつかりわかつていなかつたので、初めて試合を見る少しの緊張感とワクワクした気持ちを胸に会場に向かいました。

会場の豊田合成記念体育館はキレイで立派なアリーナで、たくさんのお客様の盛り上がりに圧倒されて緊張しながら会場に入りました。

会場では豊田合成の係の方があたたかく出迎えてくださいり、応援グッズを

いただき仲間の皆さんとのテンションもグッとあがり、いざ試合観戦へ。

初めて見るハンドボールのスピードと迫力、そして会場全体の一体感ある応援にどんどん引きこまれ、仲間の皆さんも職員も応援用のバルーンを夢中でたたきながら会場と一緒に応援と試合を楽しむことができました。

仲間の皆さんは初めての経験で、休日に貴重な機会をいただきました。豊田合成様ありがとうございました。



ハッピーサン。

1日お出掛け

ドリームライナー。

誕生日会

1月に2グループに分かれて一日お出掛けに行ってきました。いちご狩りでは、真っ赤な苺を嬉しそうに収穫して、食べていました。初詣では、「ピアノを頑張ります」「女性にモテますように」とお願いしました。待ちに待った外食では、「からやま」で皆の大好きな唐揚げを食べました。熱々の唐揚げを無我夢中で食べ、お腹いっぱい大満足。「まだ行きたいやね」「楽しかった」と皆さんの満面の笑みに、幸せな気持ちでいっぱいになりました。

3月27日に誕生日会を行いました。2月と3月が誕生日の方をお祝いして誕生日カードを渡しました。次にゲームを行いました。バランスボードの上に板を回転させることができるのかを競いました。ゲームをした後は、ゲームでゲットしたトップピングを使い、ケーキ作りを行いました。年度の終わりに皆で楽しい時間を過ごすことが出来ました!

最高です！

あまい！

乾杯！

ウキウキ。

居酒屋の取り組み

3月28日に居酒屋の取り組みを行いました。午前中は仲間と職員と協力して仕込みをしました。大量のたこ焼きをみんなでくるくる回して焼いたり、こつそりと味見をしたりしながら、楽しんで準備しました。

午後からは、職員は店員役として、仲間たちはお客様として居酒屋を始めました。食べ物が届くのを待ちながら、わくわくした様子で、まずはみんなで乾杯をしました。その後、たこ焼きや焼き鳥などが届くと自分たちで取り分けて、仲良く話しながら食べていました。美味しいものをみんなで楽しみながら食べて、大満足の1日でした！

うまく焼けた！

デザートのワッフルもおいしかったよ

黒田ドリーム作業所

「避難所体験」

黒田ドリーム作業所では、年度末の3月26日後期の防災訓練を行いました。

はじめに恒例の地震時設定で「身を守る練習」をしました。みなさん今までの練習が活きており、落ち着いて机や椅子の下にもぐり、見事に身を守ることが出来ました。

次に、建物は無事だったが電気が通らなくなつた停電設定で“避難所体験”を行いました。実際に作業所でそのような状況になった時は、グループごとで職員の指示のもと、少しでも落ち着いて過ごせる設定が求められます。

今回は職員の練習も兼ね、詳細の打ち合わせはせず、その場でいろいろと考えて動く練習の場としました。

仲間のみなさんの//ッションは、

- ① おにぎりのえりび（5種類の中から2つ）
- ② おにぎりと豚汁、ペットボトルのお茶が配られるので、摂食
- ③ 停電設定の中で3時まで過ごす です。



停電設定、暗いね～！

とくに頭を守って～！！



ふたばドリーム作業所

「グループ対抗 !! 早押しゲーム 「サクラ咲かせよう大会」

4月の土曜日のイベントとして、ゲーム大会を開催しました。

ルールは、B紙に花の咲いていない木をそれぞれ用意しクイズで正解するたびに作った桜をチームの木にたくさん咲かせたグループが勝ちというもの。グープの机には早押しピンポンブザーが用意され、出題後の「じゃじゃん！」解説後の「ブブーーーンポン！」と丁寧のクイズ番組ながらに効果音も用意し、ござ開始。

職員が問題を読み上げると、少し緊張して慎重にブザーを押していく仲間も進めるつむじなどと乗ってきて、あわやうにからだ「ピンポン」「ピンポン！」と回答がきこえないほどに(笑)。答えられない人は、チームが正解すると桜をもう一つ花を咲かせていきます。キャラクター当て・文字の並べ替え・人当て・イントロクイズとバラエティーに富んだ出題で、難しい問題の時は珍解答続出で大笑い。

最後は自分たちが咲かせた桜の木をめでながら、定番お団子を頂き終了しました。

イントロクイズが楽しかった、あの問題はすぐわかったよと興奮気味に話してくれる姿に嬉しさを感じました。楽しい企画をこれからも考えていただきたいです。

次の問題はなんにかな？
ドキドキ

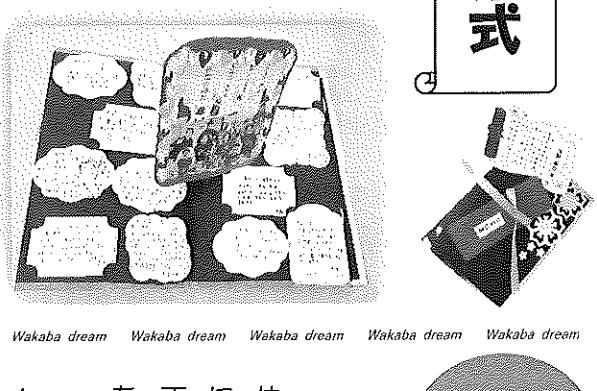
生活介護

涙のナップライズ卒業式

わかばドリーム作業所では、4月から異動する施設長のサプライズ卒業式を3月31日に行いました。

みんなで一緒に「ミュージック・ケア」を楽しんだ後は、動画鑑賞で6年間の思い出を振り返り、仲間が書いた寄せ書きと卒業証書を贈呈しました。

段々と仲間も職員も寂しさが込み上げてきて最後は、涙・涙・涙の卒業式となりましたが、「ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝え笑顔で送り出すことが出来ました。



Wakaba dream Wakaba dream

就労B

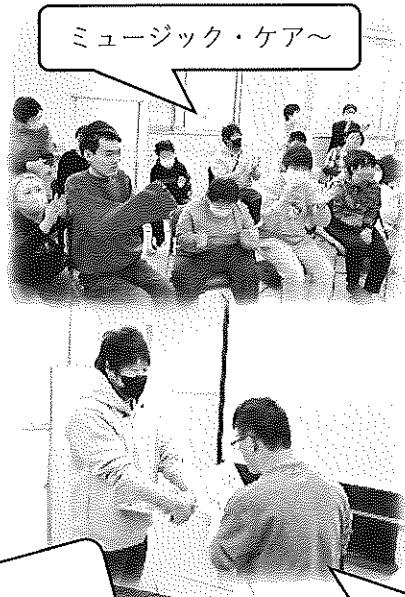
新人歓迎会をしました！

就労Bではこの春より新しい仲間を2名、職員を2名迎えました。土曜日の日課を利用して歓迎会を行いました。緊張しながらも先輩の仲間から順に自己紹介をしました。誕生日や好きな食べ物など新入さんに伝えたいことがたくさんあり、想定よりも多めに時間を使い一人一人丁寧に自分のことをお話しできました。人前に立って話すことが上手になった先輩達です。

これから、お仕事や取り組みなど一緒に経験を重ねて成長していきましょうね！

~歓迎の舞~
ハピーローテーション♪

4月からは、気持ちを新たに仲間のみんなそれが明るく・楽しく・わかばで生活していくだけるように頑張っています。



6年間ありがとうございました

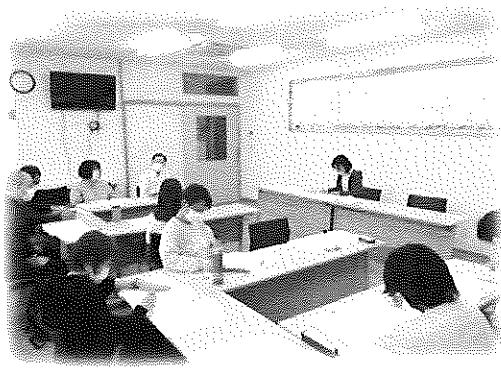
第2回新規職員オリエンテーションを行いました

4月8・10日に第2回目となる、新規職員オリエンテーションを実施し、「障害者・児虐待防止」をテーマに学びました。

学習会では、虐待防止の重要性はもちろんのこと、具体的な虐待の種類やその兆候、そして虐待を発見した際の適切な対応について、詳細な講義が行われました。

学習後には、より実践的な学びを深めるためのグループワークが実施されました。このグループワークでは、参加者それぞれの職場で実際に起こりうる場面や過去の経験を共有し、意見や情報を交換することで、多角的な視点から虐待防止について考える良い機会となりました。

この一連の学習を通して、新規職員一人ひとりの障害者・児虐待防止に対する意識の向上を図るとともに、利用者の尊厳を尊重し、安心かつ安全な支援を提供するための基盤となる理解を深めることができました。今回のオリエンテーションは、今後の日々の支援において、虐待の未然防止と早期発見、そして適切な対応に繋がる重要な学びの場となりました。

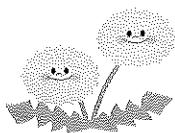


ご寄付お礼

令和7年1月16日～4月15日（敬称略・順不同）

石黒誠 村田信彦 山田薰 小山久美子 日本システム・クリエート(株) 株式会社壱番屋
山田東子 笠井昌子 ドリームセンター保護者会 川端みゆき 平沼美枝子 いっぽの会
藤嶋英治 佐野正純 設計工房庵 きそがわ作業所保護者会 たけのこ作業所保護者会
磯部裕子・・・お菓子（ホーム事業所）

社会福祉法人尾張健友福祉会・たけのこ作業所保護者会・障害者児を守るねっこの会・ホーム運営委員会



・・・たけのこホーム3内覧会にてお祝花をいただきました

この他にも多数の方々から署名の募金をいただきました。

皆様からのあたたかいご支援を大切にいたします。誠にありがとうございました。

〈木曽川町外割田の事業所〉

- ★きそがわ作業所<生活介護・就労継続支援B型>
- ★ゆうゆう<生活介護・児童発達支援>
TEL 0586(86)3763 FAX 0586(87)7194
- ★相談支援センター夢うさぎ
<計画相談・障害児相談・地域移行・地域定着・一宮市からの委託>
TEL 0586(86)4003 FAX 0586(87)7195

〈木曽川町内割田の事業所〉

- ★黒田ドリーム作業所<生活介護>
TEL 0586(86)3111 FAX 0586(86)1161
- ★ふたばドリーム作業所<就労継続支援B型>
TEL 0586(64)7378 FAX 0586(64)7231
- ★わかばドリーム作業所<生活介護・就労継続支援B型>
TEL 0586(64)6450 FAX 0586(64)6475

〈江南市の事業所〉

- ★たけのこ作業所<生活介護>
TEL 0587(55)2039 FAX 0587(50)2056
- ★グループホームたけのこ
<グループホーム・短期入所>
たけのこホーム1 TEL・FAX 0587(56)6656
たけのこホーム2 TEL 0587(56)0388 FAX 0587(50)0387
たけのこホーム3 TEL 0587(22)5602 FAX 0587(22)5603
- ★相談支援センターたけのこ
<地域移行・地域定着・特定相談・障害児相談>
TEL 0587(22)6311 FAX 0587(22)6312

〈木曽川町玉ノ井の事業所〉

- ★第二きそがわ作業所<生活介護>
TEL 0586(84)1102 FAX 0586(84)1080
- ★フラワー玉の井<居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援・福祉有償運送>
- ★玉の井ホーム<グループホーム・短期入所>
(玉の井第一ホーム・玉の井第二ホーム・玉の井第三ホーム)
TEL 0586(86)7541 FAX 0586(86)7514

〈北方町中島往還南の事業所〉

- ★北方あすなろ作業所<生活介護・就労継続支援B型>
TEL 0586(85)7152 FAX 0586(85)7153
- ★なないろ作業所<生活介護>
TEL 0586(86)6781 FAX 0586(86)6782
- ★ショートステイなないろ<短期入所・日中一時支援>
TEL 0586(86)6717 FAX 0586(86)6631
- ★児童発達支援センターまーぶるの森
<児童発達支援センター・保育所等訪問支援・放課後等デイサービス・一宮市からの委託>
TEL 0586(86)6820 FAX 0586(86)6821

★相談支援センターワンダーハウス

- （相談支援センター夢うさぎの従たる事業所）
TEL 0586(86)6665 FAX 0586(86)6821
- ★なごやかホーム<グループホーム>
TEL 0586(86)7237 FAX 0586(87)5266

〈北方町北方の事業所〉

- ★北方ホーム<グループホーム・短期入所>
第二北方ホーム TEL・FAX 0586(87)2773
第三北方ホーム TEL・FAX 0586(86)1716
第五北方ホーム TEL・FAX 0586(86)0038
- ★ぬくもりホーム<グループホーム・短期入所>
勅使ホーム TEL・FAX 0586(87)5871
わだちホーム・しづくホーム
TEL 0586(86)7127 FAX 0586(87)5871